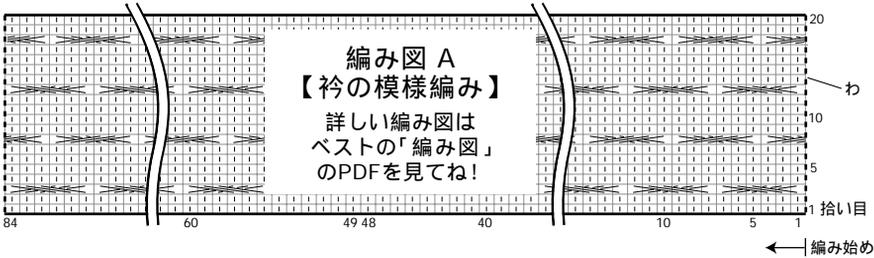


衿を編みます。

□ 表目 □ 右3目交差 □ 左3目交差

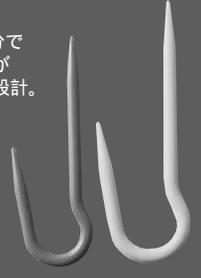
毛糸の種類によって、ベストの編み図はAとBの2種類あります(PDF参照)。



クロバーのあみもの用品

ジャンボなわあみ針「U」
2本セット(大・小)

U字部分で
編み目が
止まる設計。



1. 衿の目を拾ったら、そのまま輪針でなわ編み模様を入れていきます。



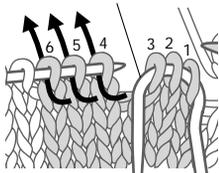
なわ編み

右3目交差と左3目交差を、数段あけて左右にずらしながら交互に編み進めていくと、美しいなわ編み模様が仕上がります。風を通しにくいので、保温性の高いニットになります。

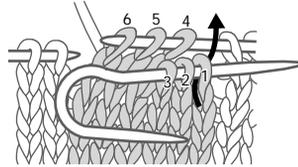
□ 右3目交差



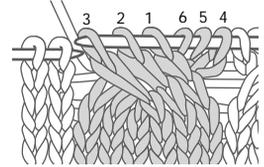
なわあみ針U



1 右側の3目(1~3)をなわあみ針Uに取り、手前側で休めます。

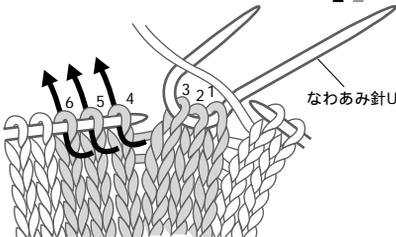


2 左側の3目(4~6)を編み、手前で休めたなわあみ針Uの3目(1~3)を編みます。

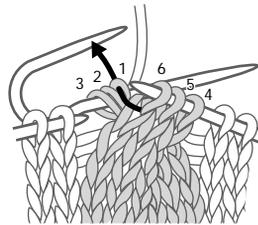


3 右3目交差ができあがりました。

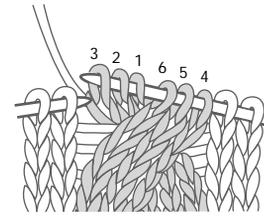
□ 左3目交差



1 右側の3目(1~3)をなわあみ針Uに取り、向こう側で休めます。



2 左側の3目(4~6)を編み、向こう側で休めたなわあみ針Uの3目(1~3)を編みます。



3 左上3目交差ができあがりました。

あみ針のサイズってどのくらいあるの？ それぞれの太さは？

クロバーの竹製とプラスチック製のそれぞれのあみ針には、0~15号、ジャンボ7ミリ~15ミリまでのサイズがあります。0号が最も細く、15号の次に太いのがジャンボ7ミリ、基本的に最も太い針がジャンボ15ミリになります(プラスチック製のみ20ミリ、25ミリ、30ミリのジャンボサイズがあります)。針の直径は、3号の直径3ミリを中心に0.3ミリずつ細くなったり太くなったりしています。覚えておくとう選ぶ時に便利です！



2号 2.7ミリ

3号 3.0ミリ

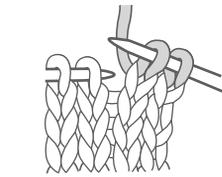
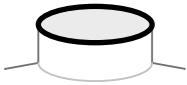
4号 3.3ミリ

2. 最上段は伏せ目をしながら編みます。

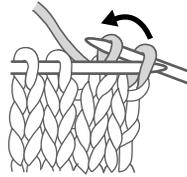
● 伏せ止め



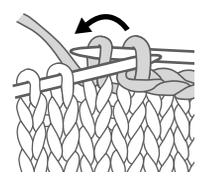
輪針編みの伏せ止めです。伏せ止めた目を「伏せ目」といいます。



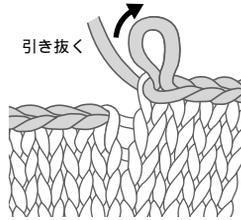
1 表目を2目編みます。



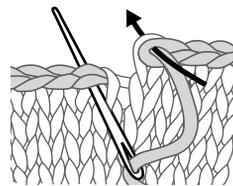
2 左の針で右の目をかぶせます。



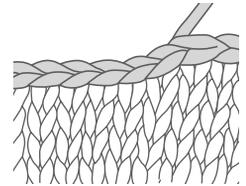
3 「1目編んでかぶせる」をくり返します。



4 終わりは10cmほど残して切り、糸を引き抜いて端を出します。



5 とじ針に糸を通し、止めの始めと終わりの目を通して裏に出します。



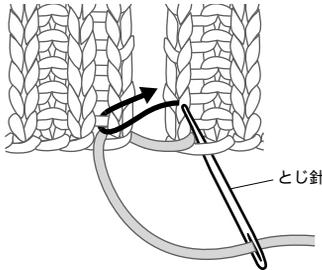
6 裏に糸端を出し、裏の目に2~3回からませて始末します。

脇^{わき}をとじて完成です。

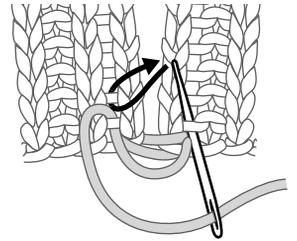
脇^{わき}をつなぎ合わせることを「とじ」といいます。



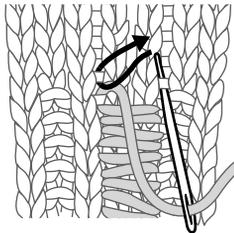
1 前身頃と後身頃の脇の各表面をつきあわせ、一目ゴム編みの作り目をすくいます。



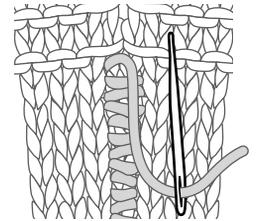
2 前後身頃のそれぞれの脇から1目めと2目めの間の渡り糸をすくっていきます。



3 数段ずつ、とじていく糸が見えなくなるまで引き締めながらすくっていきます。メリヤス編みも同様にすくいます。



4 各身頃の袖ぐりのガーター編みの手前までとじます。



マフラー・帽子・ベストがついに完成!

3ステップで、しっかり手あみをマスターできましたか?

「上手につくろう!」なんて思わずに、楽しくマイペースに編むことが大切です。

「また編みたいなあ、でも編み方を忘れちゃった」

そんな時、またこのPDFを開けてみてくださいね。



できあがり!